

整理番号	42-35	事務事業名	定期空气中濃度測定事業	作成部署	教育委員会 管理部管理課	電話	内線888
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 鈴木正廣	課長職名	青山章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H16	根拠法令等	学校保健法第3条(学校環境衛生)				
〃 終了予定年度			学校環境衛生の基準 第1章 定期環境衛生検査(教室等の空気)				
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平成14年2月5日に「学校環境衛生の基準」の一部が改正され、同年4月1日から適用されたことに伴い、「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」についての検査を「毎年1回定期に行う」ことが義務付けられた。						

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	学校教育	(第2節)
	施策	教育環境に整備	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	児童・生徒および教職員	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生の基準」に基づき、教室等の「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」の空气中濃度測定を行い、良好な環境衛生の確保に努める。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	小中学校16校の定期空气中濃度を測定。 各学校 5箇所程度測定(普通教室、音楽室、図工室、コンピューター室、体育館など)
		17年度	同上

## 2 実施(ドゥ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源		1,074	941	881
合計	0	1,074	941	881	
人件費(概算)	人数(年間)		0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	450	450	450
総事業費 +		0	1,524	1,391	1,331

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	測定箇所数		80室 (16校×5室)	72室 (16校×4.5室)	72室 (16校×4.5室)
	成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	測定達成度 (実施測定室/目標測定室)	100% (80室/80室)	100% (72室/72室)	100% (72室/72室)
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1室当りコスト(円) (総事業費/測定実施室数)		19,050	19,319	19,319

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	学校の環境衛生の把握とともに、適正な措置を通して、児童生徒などの健康を維持するため、今後も必要な事業である。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市立学校の環境測定であり、市の事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	「学校環境衛生の基準」に基づく測定であり、当然しなければならない事業である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	測定機器(測定バッチ、分析費込み)の購入方式が最も効率的である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	義務教育施設での環境衛生を確保するものであり、受益者負担になじまない。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	現状の把握ができ、有効な措置を講じることができ、充分成果が上がっているものと思われる。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	分析費込みの測定機器を購入しており、効率的で経済的であると思われる。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	「学校環境衛生の基準」で義務付けられた定期測定であり、児童生徒などの健康維持のためにも、継続実施していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり